

教育目標 学ぶ意欲にとみ 心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校 TEL 8 3 - 2 0 1 1 文責 校長 竹 花 和 人

あるさと島中について考えよう

校長 竹花和人

※9月29日(火)全校朝会での講話より

少し前に2学期が始まったと思っていたら、もう9月が終わります。この1か月は、「さわやか八戸グッジョブウィーク」「市中体秋季大会」など、大きな行事や体験活動がありました。また、台風の影響で栃木県や茨城県、宮城県などが河川の氾濫による被害をうけたり、阿蘇山が噴火したりと、自然の怖さを改めて感じた1か月でもありました。皆さんにとっては、この9月はどのような月でしたか。充実していましたか。

さて、もうすぐ10月です。島守中ではこの10月はどんな月でしょうか。なんといっても10月25日(日)に行われる文化祭に向けて取り組むことが一番大きなことだと思います。1年生は、昨年の文化祭は見に来た人以外はわからないかもしれませんね。もしかすれば、私が一番島守中の文化祭のことが分からないでいるのかもしれませんね。中学校では、生徒が主役の学校行事はいくつかありますが、その中でも大きな行事の一つが文化祭です。2学期の最大の行事であると思っています。これからの約1か月間、様々な準備や練習をして保護者や地域の方々にその成果を発表することになります。主な出し物としては、地域の方の指導による郷土芸能「えんぶり」、高田先生の指導による「音楽発表」、そして伊藤弓香先生の指導による「演劇」の3つです。どの出し物も、全校生徒が39名という島守中では、39名全員がいくつもの役割を分担して作り上げていくことになります。島守中の生徒が心を一つにしなければ、いい出し物は作れません。

そして、今年の演劇は「ふるさと島守」に関わるものです。島守の歴史や文化に関わる内容を盛り込んだ演劇になると聞いています。この演劇を作り上げることを通して、ぜひ「ふるさと島守」に対しての愛着や誇りをもってほしいと思います。そして、そのような思いを、文化祭を見に来てくださった保護者や地域の方々にも伝えてほしいと思います。

そこで、最後にフランスの詩人であるラ・フォンテーヌの言葉を紹介します。それは、「人はいつまでも故郷を身に付けている」です。皆さんの住んでいる「島守」という地域に、皆さんはどんな思いをもっていますか?人それぞれ異なるとは思いますが、高校卒業後、もしも進学や就職のために島守を離れることがあっても、皆さんがここ島守で生活してきた何年間かが、これからの皆さんの生き方の根底になると思います。これは、私自身を振り返っても当てはまります。前にも話したように、私は鮫町の出身であり、マリエントから歩いて1分ほどのところで育ってきました。そのため、海を見たり潮の香りをかいだりすると、何とも言えない思いがこみあげてきます。やはり、幼いころから見慣れている風景というのが、私の根っ子の部分に残っているのだと思います。

きっと皆さんの心の根底にも、島守に対する様々な思いが詰まっていると思います。そのような 思いを大切にして、この1か月間、えんぶりや演劇に取り組み、そこで感じたことをえんぶりや演 劇として表現しながら、「ふるさと島守」について改めて考えてほしいと思います。

人はいつまでも故郷を身に付けている

生徒会役員選挙を行いました

10月8日(木)に、平成27年度後期及び 平成28年度前期生徒会役員立候補者立会演説 会及び生徒会役員選挙を行いました。定員5名 (2年生3名、1年生2名)に対して定員どお りの5名が立候補し、立会演説会では「島守中 学校における学校生活の向上と充実」のために、 自分の考えを堂々と述べており、リーダーとし ての意識が高いことが感じられました。

その後に行われた選挙では、八戸市選挙管理 委員会よりお借りした投票箱と投票記載台を使 用して行いました。選挙の結果は、以下のとお りです。

生徒会長 髙畑 梨那 (2年) 生徒会役員 村松 裕太 (2年)

畑内 愛佳(2年)

織田 零央(1年)

大倉 愛理(1年)

生徒会長及び生徒会役員に選ばれた皆さんは、 島守中学校のリーダーとして、積極的に働くこ とを期待しています。

避難訓練を行いました

10月7日(水)の午後に、第2回避難訓練を行いました。今回の訓練は、昼休みの時間に地震が発生したという想定で、生徒たちが昼休みに様々な場所で活動している途中で、放送の指示により、まず身を隠し、その後にグラウンドに避難しました。1年生にとっては初めての訓練方法だったようで、1学期の訓練とは違った緊張感が感じられました。

次は体育館に移動し、地震が発生したとき に、どのようの自分の命を守る行動をするか について確認しました。そして、その内容を 実際に体験するために、音楽室・理科室・調 理室・学校図書館の4か所に分かれ、放送の 指示により行動しました。生徒たちは、どの 場所でも体育館で確認したような行動をとる ことができ、地震発生時の行動について理解 できたようです。

学校での災害発生時は、先生方が指示して くれますが、それ以外の場所では自分で考え 行動することになります。訓練を生かした行 動ができるようになることを期待します。









青森県中学校新人陸上競技大会

10月3日(土)に、青森県中学校新人陸協競技大会がむつ市で行われました。市中体 秋季大会で3位以内に入賞した3名の選手が 参加しました。結果は以下のとおりです。

○1年女子砲丸投 5位 大倉 愛理

○2年女子砲丸投 坂本 陽南

○ 1 年女子 100m 林 千秋

会場であるむつ市への移動は、当初は青い森鉄道とJRを利用するする予定でしたが、 暴風警報の影響でどちらも運転を見合わせていたため、市内4中学校が合同で乗り合わせる予定のバスに乗せてもらうこととなりました。市内4中学校の陸上競技部の顧問の先生方の御配慮や優しさに、感激しました。陸上競技部の皆さんは、機会があれば感謝の言葉を伝えてほしいと思います。

お知らせ

10月18日(日)8時30分より、島守地区総合防災訓練が行われます。主会場は島守コミュニティーセンターですが、本校グラウンドも青森県防災ヘリコプターの離着陸場所として使用されます。

学校としては参加しませんが、せっかくの 機会ですので多くの生徒が参加してほしいと 思います。